

# 一般質問

9月10・11・12日の本会議では、延べ23人の議員が質疑・一般質問を行い、議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。

## ごみの指定袋制の導入

**Q** 来年4月から指定袋によるごみ収集の完全有料化に向け、ごみゼロ委員会と協議されている。受益者負担ということだが、市民には大変大きな負担となる。ごみ袋の販売単価の料金設定の根拠と一枚当たりのごみ袋の単価、袋の種類、販売方法、販売場所、不法投棄等、どのように検討されているのか。

**A** 指定袋の単価は、ごみ減量化対策促進協議会の協議の結果、ごみ処理経費の1割程度ということと、処理経費は、過去2年間の平均で10kg当たり360円がかつており、その1割にごみ袋代と販売手数料を加えると45円袋で50円となり、これをベースに30円袋を30円、20円袋を20円程度と考えています。袋の種類は、共通の1種類にし、市民の混乱を避け、利用しやすさを図ります。販売方法、場所については、販売店を公募し、販売店が確保できない地域は食品小売店舗へ販売をお願いをする等、購入に不自

由を感じないよう施策を考え、市の公共施設でも販売は行います。不法投棄については、継続的に広報、啓発活動により理解を得るほかなく、粘り強く推進したいと考えます。また、不法投棄パトロールの強化を実施するとともに、不法投棄物の処理については警察と連携を図り、取り締まりを強化したいと思っております。

## 三洋電機跡地への大規模店の進出と環境整備

**Q** 三洋電機跡地への大規模店の進出と環境整備については、民間と民間の土地売買からのスタートとしても、市はまちづくりや都市計画の観点、市民にとってよりよい環境づくりとの関わりと責任があると思う。大規模店の進出の正式発表はいつごろか。また、大規模店に対して地元商業関係者や市民への事前説明を求め、商業施設の全体像を市民に示すべきと思う。また、現在の店舗跡はどうなるのか。交通渋滞対策としての市・県の考え、対応策と、治安の問題について、問題を

提起して対策を事前に強く求めることが必要ではないか。

**A** 出店の正式発表については大規模小売店舗立地法に基づく出店届が出された時点となり、もう少し先になると思われます。市としては、出店届よりも前に地元や商業関係者に対し、出店の計画についての説明を行うことを求めており、早い時期に実現できるよう努力したいと考えています。現在の店舗跡については、アスタリアかさいや大型店等と競合する業種の営業は避けると聞いていますが、今後も協議、要望を重ねたいと考えています。交通対策については、主な関係路線の整備を大型商業施設の開店時にできるだけ工事を進捗、完成させて円滑な交通処理を図りたいと考えています。治安対策については、事業者が警備員による店内巡回や従業員による声かけによる防犯、売場レイアウトで死角、暗がりをつくらない等の対応を行うとともに、駐車場への適切な照明の配置、店舗周辺の巡回、防犯体制の強化に努め

## 観光について

るとしており、確実に履行するよう市としても要請したいと考えています。

**Q** 観光のPRについて、加西市では鶉野飛行場跡地の有効利用をどうするか、一般の市民より意見をいただいているが、当時のままの貴重な施設が残っている全国でも珍しいこの地を保存有効利用し、観光資源として利用できる可能性が十分にあると考える。既存の施設や観光資源となり得る場所を積極的にPRし、映画やドラマの撮影等にきていただき、外貨獲得や経済効果等を考えたかどうか。

また、地方分権、地域間競争が進む中、フィルムコミッションの設立ということもあるが、現状のPRの仕方についての考え方はどうか。

**A** 映画やテレビのロケ地になることは、情報発信の有力な手段の一つであると認識しています。鶉野飛行場跡地は、加西市特有の歴史的な戦争遺産という形で情報発信することで、新たな